

2024 年度 学校健康教育職域管理栄養士・栄養士育成のための 全国リーダー研修会報告

開催日時：2025年1月19日（日）

13：00～ Web開催

主催者挨拶

栄養教諭の職務の明確化がいられている。各都道府県のリーダーは、職域において、本日の内容の情報の共有、咀嚼をし、研修会を実施してもらいたい。政策集団として活性化していくためにも、会員増に向けて取り組んでももらいたい。栄養教諭の1校1名の配置に向けて活動し、次のアクションに向けての取り組みも行ってもらいたい。

1. 議事

- (1) 2023年度事業報告および2024年度事業報告（案）について
- (2) 2025年度事業計画（案）について
- (3) 「栄養教諭の配置促進」に関する要望書の提出について
- (4) 個別的な相談指導の研修、実施報告の提出について
- (5) その他（生涯教育・会員数）

2025年度事業計画(案)において、会員であれば、今までも全国栄養士大会は無料で受講ができたが、基本研修も無料で受講できると連絡があった。「栄養教諭の配置促進」に関する要望書の提出時に、文部科学大臣より「子どもが良くなった」という事例の提出を求められた。「子どもが良くなった」事例も集めていきたい。

2. 講演「栄養教諭等の職務・業務・配置に関する調査から見えた課題と展望」

神奈川県立保健福祉大学栄養学科講師

飯田綾香氏

昨年度行ったアンケート調査の分析結果の報告があった。栄養教諭は何ができて、何をする人なのか伝えることも必要である。業務の効率化のためには、給食管理の効率化が課題であることがみえてきた。

3. グループワーク「栄養教諭業務の改善に関する情報交換」

7つのグループに分かれて業務の改善をテーマにグループワークを行った。各市町村での校務支援パソコンの配置状況について情報の共有をした。食物アレルギーの対応で、共通の様式を使用することで業務の改善を行っている報告があった。食に関する指導において、グーグルフォームを活用して情報共有している紹介があった。給食費については市町村によって扱いが異なり、様々な状況があった。来年度から公会計化になる市町村もあった。

まとめ・総括

今まで通りでは対応できない事が増えてきているので、情報交換を行い、情報の共有を行ってもらいたい。グーグルドライブなどで共有するのも1つの方法である。システムが統一されると効率化が促進されるとおもうが、校務支援システムが各市で広がっていると感じている。

（文責 学校健康教育部 T.D.）